

日中経済交流研究会新聞

インタビュー vol.23

世界中から注目されて発展し続けるミャンマー
軍事政権から民主化されてビジネスのチャンス大いにあり！株式会社ミャンマーサポート
代表取締役 土井 美々れ 氏

日中経済交流研究会では、昨年からチャイナプラスワン委員会を発足して中国のみならず、アジア諸国全般に幅広く視野を広げて研究活動をしています。新会員さんの土井美々れ氏はミャンマー出身で、国内外で活躍されながら、私たちの研究活動にも大いに貢献をしてくださっています。



日本とミャンマーの架け橋になりたい!と起業

日本に住んでいる親戚を訪ねて30年前に日本へ来てからずっと日本に住み、日本国籍も取得されて、流ちょうな大阪弁で話される土井さん。大好きな日本と愛する祖国ミャンマーの架け橋になりたい。その熱い思いと情熱がついに、日本で働きたいミャンマーの学生のために日本語学校を設立し、ミャンマーに進出したい日本企業のために、そして日本の伝統文化をミャンマーに広げていきたいと会社を立ち上げました。

ミャンマービジネスの現状 ～ティラワ経済特別区～

軍事政権から民主化され、2016年10月に約20年間続いたアメリカの経済制裁が解除されたことで、各国より投資が進み始めました。日本とミャンマーが共同で開発をすすめるティラワ経済特別区は約2400ヘクタールの壮大な経済特区で、安倍首相が直接出向されたことでニュースになりました。すでにクボタ、ヤンマー、スズキ、味の素など大企業が進出していますが、ミャンマー政府は日本の中小企業にも進出してほしいと言っています。

例えば、電力が不足しているのでダムの湖面を利用した水上ソーラーパネルによる小規模な水上プラント事業や、コンパクトなビニールハウスとLEDを組み合わせて小規模な農業ビジネスなど、また、稼働停止している国営企業を活用して生産加工も可能であります。私たちのような中小企業が進出するチャンスは大いにあると感じています。

親日感情をもっていて、また仏教徒で純朴な国民には日本の教育やマナーも浸透させやすく、一方で教育水準も高く英語も堪能であります。平均月収はワーカーで約1万円、マネージャークラスで約2万円、公務員で2～4万円程度だそうです。

ミャンマーからの外国人技能実習生の現状

現在、日本全体では1000人程度。地域別では広島県が多いようです。今年の法改正によりますます外国人技能実習生の受け入れが増加することは間違いなく、昨今はベトナム人も飽和状態であり、ますます獲得競争が厳しくなることが予想されます。

そんな中、昨年土井さんは日本で働きたい人たちのためにミャンマーで日本語学校を設立し、日本語教育だけではなく、30年間日本に滞在した経験をもとに日本人の心や文化、習慣をしっかりと教えながら、日本に来てからカルチャーショックがないようにと日本で働く心構えを取り入れた企業研修カリキュラムを展開しています。

まとめ

ミャンマーは治安も大変よく、今年9月まではビザなしで訪問することができます。

世界中から注目され、目まぐるしく発展している、そんなミャンマーにみなさんもぜひ一度訪れてみて、しっかりと肌で感じてこられてはいかがでしょうか？

土井さんがいつでも喜んでサポートしてくれます。

まとめ Pink Rose 広瀬みゆき



ミャンマーの学校の授業風景